

続・ふるさと こぼれ話

ハツ木若狭劇場②

屋外映画館を始めて2、3年後、若狭さんは大きな建築作業小屋を新築した。南北に3間(5.4メートル)、東西に10間(18メートル)の約100平方メートルの規模で、当時の若狭さんの建築請負規模にしては立派過ぎるものであった。若狭さんは、これを映画館に利用することを考えていたのだ。この作業小屋兼若狭劇場が完成すれば、雨を心配せずに計画どおりに映画が上映できるようになる。

床から2メートルほど高い部屋を映写室にした。床は前半分にむしろを敷き、後半分に長いすを並べ、150人ほどが入れる映画館となった。また新し物好きの若狭さんは、ほかの大工よりいち早くトラックを買った。材木の運搬に使う一方で、トラックにスピーカーを付けて映画の宣伝車として大いに利用したのだ。

若狭劇場で上映する映画のほとんどは時代劇で、みんなから「時代劇の若狭劇場」と呼ばれていた。昭和12年ごろまでは無声映画が主流で、「目玉の松ちゃん」こと尾上松之助の大剣戟や阪東妻三郎(田村高廣ら田村3兄弟

第64回



の父の「雄呂血」などの無声映画を上映するときは、スクリーン脇で映画を盛り上げるために音楽を奏するバイオリニストと、映画の内容やセリフを語る活動写真弁士を呼び寄せた。活動写真弁士の名調子の話芸に、観客はハラハラドキドキ、拍手喝采となるのであった。

しまたがしの芳賀の自然 16



ゴマダラチョウ チョウ目タテハチョウ科
 写真提供=芳賀町自然に親しむ会
 分布=北海道南部~九州
 生息地=平地林の雑木林や都市部の公園
 時期=5月~8月(年3回発生)
 食性=ニレ科のエノキなどの樹液や腐った果実。
 大きさ=開張(羽を広げた最大値)60~75mm
 特性=オオムラサキと同じ環境を好み、生息地は重複することが多い。冬期は地上に落ちたエノキの落ち葉の中で越冬する。

編集後記

□また夏がやってきました。年々、夏が暑くなっているのは、気のせいではないようです。□アスファルトに囲まれているわが家は、7月には早くも冷房が必要になります。昔は、緑があったのでよかったです。今は、緑が返しがきつく地獄のような暑さに…。緑の大切さを、日々痛感しています。

■役場では、グリーンカーテンを作つて暑さ対策をしています。アサガオ・キュウリ・ゴーヤなどさまざま。私も家で植えてみましょうか…



▲天満宮(西水沼)

■編集 芳賀町広報広聴委員会
 ☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
 ■発行 芳賀町企画課
 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
 ■芳賀町ホームページアドレス
 http://www.town.haga.tochigi.jp
 ④芳賀町の携帯サイトはコチラから➔

